

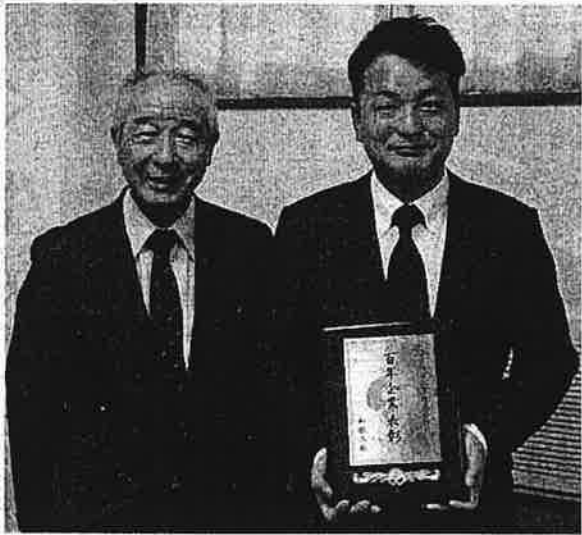
# 和歌山

## 和歌山支局

〒640-8154 和歌山市六番丁5  
和歌山第一生命ビル4階  
TEL 073(431)1411  
FAX 073(433)0650  
wakayama@mainichi.co.jp

### 【通信機関】

本 0736(32)0063  
橋 0738(22)2511  
田 0739(26)1026  
【広告問い合わせ】073(423)9291  
【購読問い合わせ】0120-468012



「かなり早い段階の商品を取り上げて、大層にしてくれたから会社が続いたと感謝(谷島会長)と、50周年誌「和歌山市で

タンニン酸、アルギン酸、スモ改めて理解した。テピア……食品や医薬品のラベ、染料薬種商として開業した向ルで、今目にする添加物だが、社がポリフェノールの一つ、タンニン酸の製造を始めたのは1929年。江戸時代、お歯黒に知った。身近な存在だったこと、使われていたタンニン酸が染料

## 富士化学工業

# 継続は力なり

わかやま100年企業の挑戦

## 食品添加物を一貫製造



五草(左)と製品の数々

の色落ち防止剤として効果があることがわかったからだ。タンニン酸は「五草」と呼ばれる原料から作られる。ウルシ科アルテア属の葉の付け根にヌルンミミシアフラムシという昆虫が刺傷を作ることでできた虫ごみを乾燥させたもので、樹液から精製した製品の用途は下痢止め、抗アレルギー剤、飲食物の酸味付け、毛髪のパーマ剤、毛染め剤、金属のさび止めと幅広い。「かつては和歌山や京都の山奥にも自生していたと聞いていますが、当社は当時も

今も中国の山奥に自生しているものを輸入して精製しています」と、谷島正太郎会長(74)は説明した。

47年、谷島忠工業所から富士化学工業所に改称。65年には岩手県大槌町に工場を開設し、コレステロールの排出や整腸作用があるとされるアルギン酸の製造を始めた。コンパ目的の海藻、カンメヤレンニヤなど原料にした製品は、麺やパンの触感改善や保水性向上、化粧品フェイスマスクの保湿を高めるためにも使われていると

# 品質にこだわり続け

いつから、ちょっと親しみを覚えた。そんな同社も世界経済の動きと無縁ではなかった。100年超の歴史の中で最も苦しかった時期を聞く、谷島会長は90年代前半の田高不況を挙げ、「1㎡80円になりました。その時、海外から安い製品が入ってくるようになって赤字になった。売り上げも半分になった。売れやすから95年、大槌町の工場を売却することになった」と話した。当時、七十数人いた従業員は自分の一となり、生産を支える。

点は和歌山の本社に集約し、再起を図った。

試験をくぐり抜けてもこだわりの歴史のはず。昨年、就任した宇治田雄一郎社長(48)は「タンニン酸は抽出から粉末化まで国内メーカーで唯一、一貫製造し、アルギン酸の製造も当社を含め、国内に社社があまりありませんが、値段ではなく品質、用途開発にウエートを置いていきます」と胸を張った。納入先は日本を代表する大手医薬品や食品メーカーで、トップブランドを支える。

国内市場が縮小傾向にある中、力を注いでいるのがイスラエル教徒が多い東南アジア。アルゴールや豚が原料に入っている



工場はパイプが縦横に張り巡らされていた

### 企業情報

- 創業 1898(明治31)年ごろ
- 業種 医薬品、食品添加物製造
- 所在地 和歌山市中之島
- 社員 28人
- 資本金 3000万円

【編集委員】北林雄彦

〓次回は大彦(和歌山市)で